

このヴァイオリニスト、危険につき！

10代にしてウィーンに渡った中村太地君は、音楽の何たるかをよく知るヴァイオリニストである。ひとつのフレーズがどのように始まり、どこで頂点を迎え、どのように終わるのか、すべてが自然に身体化されている。情熱を前面に押し出したり、奇を衒ったりすることは決してない。と書くと、オーソドックスで優等生的な演奏を想像されるかもしれない。でも、中村太地は全く違う。

彼は楽譜の端々に、彼だけの美や退廃や洒脱の瞬間を読み込んでいく。そして蝶のように、聴く人の頭上から中毒性の鱗粉を振りまいていく。なまじ穏健な演奏だからこそ、聴き手は油断して鱗粉をかぶってしまうのだ。蝶はさんざん飛び回ったあげく優雅にその場を去り、気がつくあなたは虜になっている。音楽通といわれる人たちの中に、中村太地の熱狂的なファンが多いのはそういう理由なのだろう。

万人にお勧めするとは言わない。しかしひとたびその演奏にはまってしまったら、きっと一生彼を追いかけて続けることになる。危険なヴァイオリニストである。 佐藤 卓史



中村 太地 Daichi Nakamura, Violin

2017年、オーストリアのペルチャツハで行われたブラームス国際コンクールにて、日本人初の優勝。ほか、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール入賞(最年少ファイナリスト)、リピツァー国際コンクール、ハチャトリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクール等、権威ある国際コンクールにて多数入賞及び特別賞受賞。

ブルガリアで行われたシメオノヴァ国際コンクール優勝後には、審査委員長A.スタンコフ氏にその才能を認められ、直後にソフィア・フィルと共演してヨーロッパデビューを果たす。

モスクワやウィーンの流派を汲み、これまでにアナスタシア・チェボタリョワ氏や渡辺後はウィーン国立音楽大学にてミハエル・フリッセンシュラガー氏に師事。

これまでに九響、名古屋フィル、サンクトペテルブルク響、ソフィア・フィルなど国内外のオーケストラと共演する他、フィンランドのクフモ音楽祭に招かれるなど、ヨーロッパと日本を中心に活動中。2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。



佐藤 卓史 Takashi Sato, Piano

1983年秋田市生まれ。2001年日本音楽コンクール、2007年シューベルト国際コンクール、2011年カントゥ国際コンクールで第1位、他入賞多数。N響、東響、シドニー響、ベルギー国立管など国内外のオーケストラと共演したほか、室内楽奏者としても世界的に活躍している。東京藝術大学を首席で卒業後渡欧、ハノーファー音楽大学、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積んだ。2014年よりシューベルトのピアノ曲全曲演奏会「シューベルトツィクルス」を展開中。

現在BSジャパンの音楽トーク番組「おんがく交差点」に出演中。室内楽、作編曲など幅広く活躍している。

公式サイト www.takashi-sato.jp

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)